

自治体消防 75 周年記念大会が開催されました

自治体消防 75 周年記念大会が、令和 6 年 11 月 29 日（金）日本消防会館（ニッショーホール）にて全国から約 1,000 人が参加して開催されました。

この大会は、昭和 23 年自治体消防体制成立以来 75 周年を経て、関東大震災から 100 年が経過し、阪神淡路大震災からは 30 年を迎える節目の時でもあり、日本消防協会が多くの方々から支援・協力を得られて完成した日本消防新会館において、消防関係者の一致団結のもと、国土を守り、国民の皆様の安全を守る消防使命達成への決意を新たにすることを目的とし、公益財団法人日本消防協会、全国消防長会が主催で開催されました。

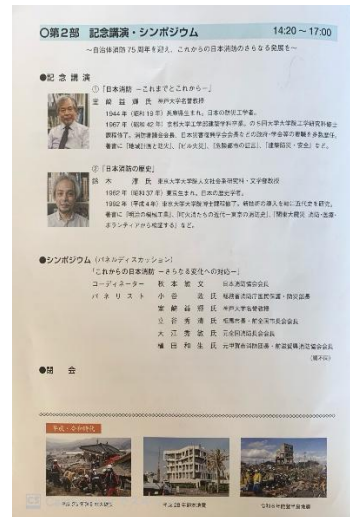
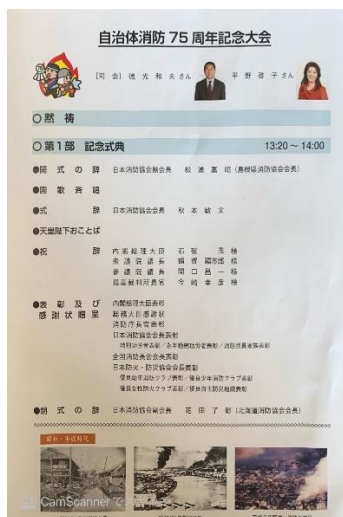
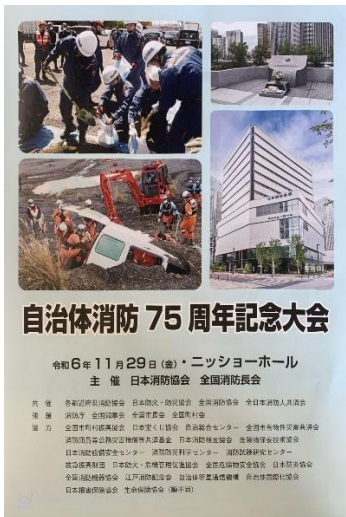
第一部は記念式典として、日本消防協会 松浦副会（島根県消防協会会長）の開会の辞にはじまり、国歌斉唱、日本消防協会 秋本会長の式辞、天皇陛下のおことば、石破内閣総理大臣、額賀衆議院議長、関口参議院議長、今崎最高裁判所長官、のご祝辞のあと、各機関へ表彰および感謝状の贈呈が行われました。日本消防協会 花田副会長（北海道消防協会会長）の閉式の議で締めくくられました。

第二部は記念式典・シンポジウム～自治体消防 75 周年を迎え、これからの日本消防のさらなる発展を～として、記念講演①「日本消防-これまでとこれから-」室崎 神戸大学名誉教授、記念講演②「日本消防の歴史」鈴木 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授 のお二方のご講演がありました。どちらの講師様も時間が足りなくなるくらい熱心にご説明いただき、大変ためになる内容でした。

シンポジウムでは「これからの日本消防-さらなる変化への対応-」をテーマに、日本消防協会秋本会長のコーディネーターのもと、小谷 総務省消防庁国民保護・防災部長、室崎 神戸大学名誉教授、立谷 相馬市長、大江 元全国消防長会会長、植田 元滋賀県消防協会会長、の皆様でご協議いただきました。

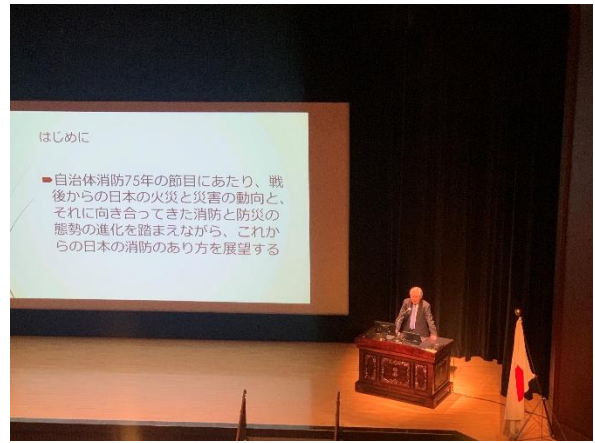
日本の消防は、様々な災害体験を経て、消防界先人の大変なご尽力により全国的な体制整備がされ今日の自治体消防制度が設けられたわけですが、近年の地球環境の変化により災害の内容も変化し、これまでの実績を大きく上回る災害も発生し始めています。その中で、新しい技術や素材を活かした消防基盤などの整備が必要となってきていますが、少子高齢化の進行や人同士の結びつきが希薄になるなど地域社会の変化もみられています。これらについて幅広い方々で総合的な検討を進め、様々な困難はあると思いますが適切な対策の実現を進める努力が必要という事をお話を通じて考えさせられました。

滋賀県からは、植田名誉会長と今井会長をはじめ副会長、監事、事務局の 8 名が参加しました。





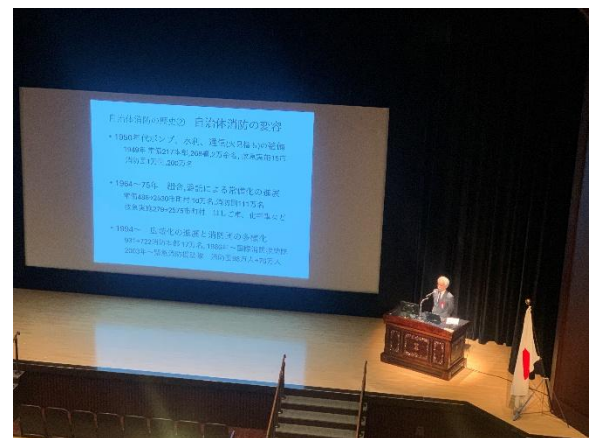
秋本会長



記念講演① 室崎教授



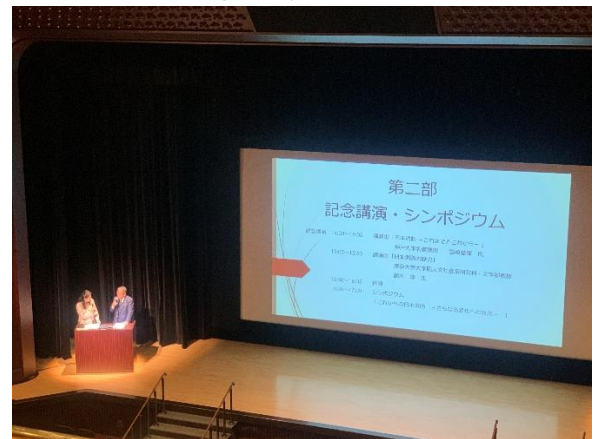
室崎教授



記念講演② 鈴木教授



鈴木教授



シンポジウム





秋本会長



小谷総務省消防庁防災部長



室崎神戸大学名誉教授



立谷相馬市長



大江元全国消防長会会長



植田元滋賀県消防協会会長

